

2005
11.11

17-11

博物館ニュース

結髪土偶ケッパツさんが紹介する 特別展のみどころ



こんにちは。私は結髪土偶のケッパツさんです。今開催されている博物館の特別展「土よりいでしものたち」を観ましたか？え、まだ？では、私がそのみどころを案内しましょう。

この特別展のみどころは何といっても県指定有形文化財が間近で見られるということ！県の文化財で考古関係のものは17件ですが、常時公開されているものは少ないです。そのうちの3件が現在公開されているのですよ。

どこでやっているか？それはインフォメーションセンターというところです。去年の12月に出来たばかりの場所で、正門を入っていちょう並木をしばらく歩くと左側にあります。ウッドデッキがある素敵な場所なんですよ。誰でも気軽に入ってくつろげる場所です。私が入口で出迎えてます。



ところでケッパツさんなんて変な名前だと思っているでしょう。私は結髪土偶と呼ばれる土偶です。髪を結い上げているみたいだからこう呼ばれているのですよ。ここで問題です。私の性別はどちらだと思いますか？



次に展示されている資料を1つ紹介しましょう。これは『注口土器』と呼ばれる土器です。県指定有形文化財の1つです。この土器は取っ手に注ぎ口がついているんですよ。辺ですよね。なんででしょうね。



この展覧会は無料ですが、いろいろ持ち帰れるグッズがあるんですよ。資料の解説をダイジェストにまとめた資料のカラー写真入りのパンフレットや、しおり、縄文クッキーのレシピがあります。

しおりには私ケッパツさんの写真が入っています。読書や勉強に使ってくださいね。そして縄文クッキーのレシピですが、これは他ではなかなか手に入れられない代物です。このレシピには2種類のクッキーの作り方が書いてあります。それは縄文人になりきって作るか、現代人として作るかの違いです。縄文人として作るにはある程度の覚悟が必要です。

さて、特別展のみどころを紹介してきましたが、そろそろお別れです。いくつか出したなぞなぞの答え、ここでは教えません。映画の予告もそうであるように、会場に観に来てねということです。それでは会場で待ってます。